

# ●特別支援学級 Q & A ●

**Q1** 特別支援学級では、どんな子供が学んでいますか。

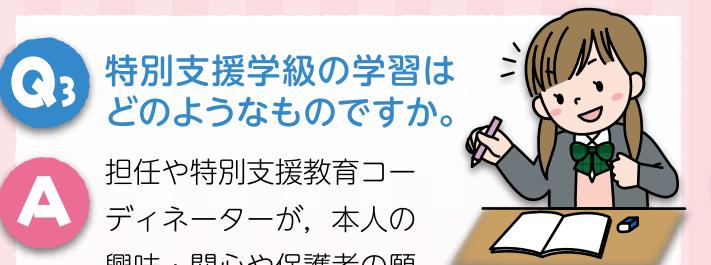


**A** 弱視、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱、知的障害、自閉症・情緒障害のある子供たちが学んでいます。障害種ごとに学級があります。仙台市就学支援委員会で入級が適切と判断され、保護者からの入級申し込みがあった子供が対象です。子供が1人の場合でも、原則、学級が設置されます。

**Q2** 入学後に特別支援学級に移ることはできますか。

**A** できます。通常の学級から在籍を異動する場合には、保護者と学校が十分話し合い、希望や考えを確認した上で、本人・保護者が特別支援学級を見学し、よく理解した上で移行できるようにしています。ただし、仙台市就学支援委員会での判断が必要です。

**Q3** 特別支援学級の学習はどのようなものですか。

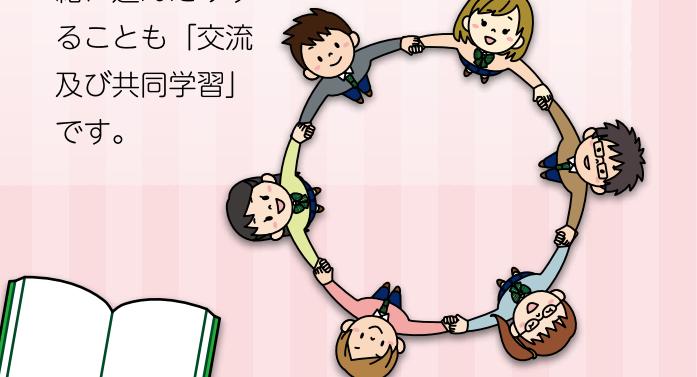


**A** 担任や特別支援教育コーディネーターが、本人の興味・関心や保護者の願いを聞きながら、関係機関の連携による一貫した支援を行うための「個別の教育支援計画」や、指導目標や内容、方法等を示した「個別の指導計画」を作成します。子供たちの理解の仕方、得意なところや苦手なところを把握し、学習の内容や量、時間やペースなど、一人一人のニーズや状況に応じた指導を行います。「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」といった指導の形態を設定することもあります。

**Q4**

通常の学級との「交流及び共同学習」は、どのように行われていますか。

**A** 「交流及び共同学習」では、一人一人の実態に合わせて、一緒に学習する教科や内容を決め、通常の学級の子供たちと同じ場で共に学習をしていきます。校外学習や運動会、学習発表会等の学校行事に参加したり、給食や掃除と一緒にしたり、休み時間と一緒に遊んだりすることも「交流及び共同学習」です。



**Q5**

特別支援学級ではどんな教科書を使いますか。

**A** 教科書は、子供一人一人の実態を踏まえて、学びやすい学年の教科書を使用したり、一般図書（市販の図書）を教科書として使用したりします。

**Q6**

中学校の特別支援学級卒業後はどんな進路がありますか。

**A** 特別支援学級では、小学校や中学校段階から、将来の自立を見据えて、生きる力を身に付ける学習を行っています。中学校卒業後は、多くの生徒が特別支援学校に進学しています。また、高等学校や障害者職業能力開発校等に進学する場合もあります。

# ●行事を通して様々な体験をします●



## 特別支援学級交流会

近隣の小・中学校の特別支援学級との交流会は、人と関わることの楽しさを味わい、お互いに成長し合える機会となります。



## 宿泊学習

家庭を離れて、校外の宿泊施設で宿泊体験をします。普段と違う体験をしながら、自立に向けた技能や心構えを学びます。



## 学習発表会(学芸会)

所属の学年の発表に参加する場合と、特別支援学級単独で発表する場合があります。



## 校外学習

社会見学や買い物学習、外食等、体験的な学習を積み重ね、生活経験を広げます。公共交通機関の利用の仕方や公共のマナーも学びます。



## 施設見学・職業体験

福祉施設や事業所の見学を通して、将来働く姿をイメージします。仙台子ども体験プラザでの学習を行うこともあります。



## 子どもと市民のつどい運動会

特別支援学級の子供たちが集い、市民の皆さんと一緒に運動を通して交流を深めます。<sup>\*1</sup>



## みんな仲良し音楽交流会

コンサートホールで、音楽鑑賞を楽しむ他、みんなで歌ったり踊ったりして、楽しく交流します。<sup>\*1</sup>



## 特別支援学校見学

進路指導の一つとして特別支援学校を見学します。実際に見聞きすることで、進路に向けての心構えを持つことができます。<sup>\*2</sup>



## 特別支援学級卓球大会

中学校の特別支援学級の生徒が参加します。「体育」や「生活単元学習」等の時間を活用して準備を進めます。学校間の交流の機会にもなっています。<sup>\*2</sup>

●編集委員● (○：委員長 ○：副委員長)

○仙台市立高砂中学校 教諭 堀越 秀範  
○仙台市立長町南小学校 教諭 藤田 幸平  
○仙台市立新田小学校 教諭 村上 理香  
○仙台市立南中山中学校 教諭 佐藤 英明  
○仙台市北部発達相談支援センター 主査 細島 圭子  
○仙台市立鶴谷特別支援学校 教諭 山口 敬宏  
○仙台市立中田中学校 教諭 後藤 広一  
○仙台市立館小学校 教諭 照井 未央  
○仙台市立岡田小学校 教諭 笹 静佳

●事務局(特別支援教育課)●

課 長 杉 肇子  
主 任 幹 原 新太郎  
主任指導主事 秋山 一郎  
指導主事 齋藤 健造  
指導主事 菅澤 美香子  
指導主事 山田 隆  
指導主事 鶴淵 常夫  
指導主事 菊地 智之

平成29年3月発行 編集・発行 仙台市教育委員会(教育局学校教育部特別支援教育課)  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5-12 Tel.022-214-8879

仙台市の  
**特別支援学級**

みんな生き生き!

級



児童生徒作品



製品販売の様子



視覚・聴覚支援機器



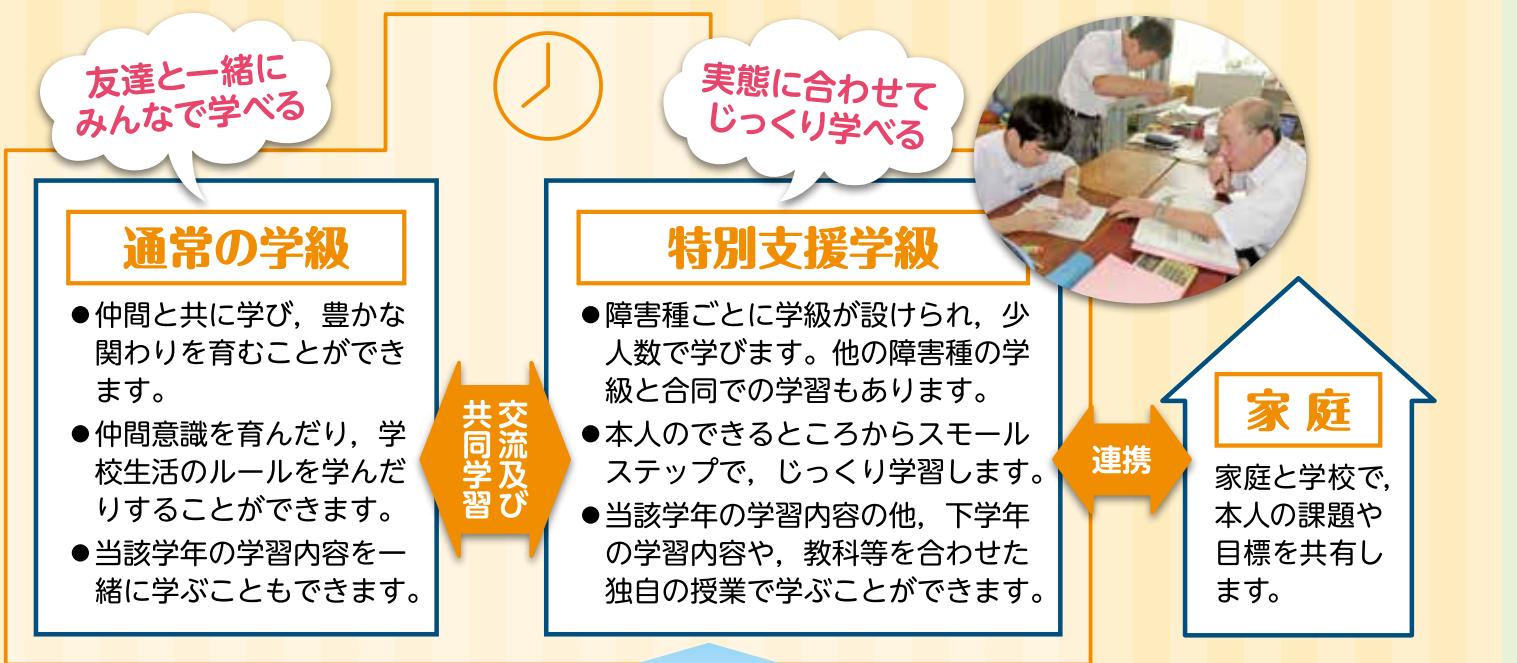
学習の様子

特別支援学級ってどんなところ?  
仙台市の特別支援学級について、先生方や保護者の皆さんに広く知ってもらえるようこのリーフレットを作成しました。

仙台市教育委員会

# ●特別支援学級ってこんなところです●

弱視、難聴、肢体不自由、病弱・身体虚弱、知的障害、自閉症・情緒障害のある子供たちが学んでいます。



自己肯定感を高めながら、将来の自立と社会参加に必要な知識や技能、コミュニケーション力を身に付けます。

生きる力

# ●特別支援学級ではこんな学習を行っています●

\*ここでは主な学習内容の一例を紹介しています。

## 各教科等を合わせた指導

教科等の内容を生活に即した形で実際的・具体的な場面で、学習します。

### 日常生活の指導

生活スキルを高め、日々の暮らしを充実するよう、日常生活の諸活動を適切に学習します。

- 着替え、荷物の整理
- 身だしなみや衛生面への意識
- 清掃
- 給食
- 朝の会
- スケジュールワーク(国語・算数)  
カレンダーワーク(算数)  
天気・気温調べ(理科)  
日直の司会(国語)  
歌、指揮、楽器演奏(音楽)  
献立の紹介(家庭科)  
スピーチ(国語)  
ゲーム(自立活動)



### 生活単元学習

生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするため、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習します。

- 宿泊学習の行先を調べる(社会)
- 買い物学習でお金の勉強(算数・数学)
- 育てた野菜で料理に挑戦(家庭科)
- 公共交通機関の使い方(社会)
- 季節の掲示物を作る(図工・美術)
- 学級の目標を決める(特別活動)



### 作業学習

作業活動を中心に行なうながら、子供の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会的自立に必要な事柄を学習します。

- 収穫した野菜で調理実習(家庭科)
- 天気図や温度計の読み取り(理科)



- 手芸、木工、版画、カレンダー、はがき等の製作(技術・家庭科)

- 販売での計算練習(算数・数学)
- お菓子作り、飲み物の用意(家庭科)
- 注文の受け方(国語)
- 場や状況に応じた振る舞い(道徳)



- 校内での受注作業

- 印刷、清掃、修理、ラミネート加工、プリント配布等

## 教科別・領域別の指導

### 国語

#### 〈話すこと・聞くこと〉

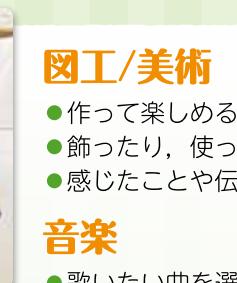
- 休日の出来事について、5W1Hを意識しながら発表します。聞き手は話し手の話をメモし、質問します。話し手はそれについて答え、相手に気持ちを伝えていく力を高めます。



### 算数/数学

#### 〈数と計算〉

- 具体物を使った学習  
実際の硬貨やブロックなどを用いて、繰り上がりを視覚的に捉える。



### 図工/美術

- 作って楽しめる作品
- だれかに見せたい作品
- 飾ったり、使ったりできる作品
- 感じたことや伝えたいことを絵や立体、工作に表現します。

将来の充実した暮らしにつながるよう、様々な活動を行います。

### 音楽

- 歌いたい曲を選んで独唱や合唱したり、様々な楽器に触れたりしながら演奏する楽しさを味わいます。
- 音楽に合わせて歩く・止まる等の動きを通して、リズム感を養います。



### 体育

- 運動の苦手な子供も一緒に楽しめる、パターゴルフや風船を使っての運動
- バランスボールを使った体幹の運動
- アニメの曲など、リズミカルな曲に合わせた表現運動
- 跳び箱やマット、平均台、フープ等を用意し、様々な体の動かし方ができるようにするサーキットトレーニング
- 中学校特別支援学級卓球大会へ向けた卓球練習